2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名	三京化成株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	8138	URL	https://www.sankyokasei-corp.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	小川和夫
問合せ先責任者	（役職名） 常務取締役管理部長	（氏名）	小川和浩　　(TEL) 06-6271-1881
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	2026年11月30日

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	14,921	12.4	298	29.7	371	26.6	253	△46.7
2026年３月期中間期	13,277	3.2	230	62.9	293	38.9	475	256.3

（注）包括利益　2027年３月期中間期　533百万円（　95.1%）　2026年３月期中間期　273百万円（△16.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	280.96	―
2026年３月期中間期	527.75	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	16,484	9,685	58.8
2026年３月期	15,431	9,193	59.6

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　9,685百万円　　2026年３月期　9,193百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	50.00	―	50.00	100.00
2027年３月期	―	70.00			
2027年３月期(予想)			―	50.00	120.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有
２．2027年３月期第２四半期末配当の内訳　普通配当 50円00銭　創業80周年記念配当 20円00銭

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	6.6	530	3.3	630	0.2	420	△44.2	466.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

詳細は、添付資料P.３「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料P.10「２．中間連結財務諸表及び主な注記　（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,145,500株	2026年３月期	1,145,500株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	243,692株	2026年３月期	245,378株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	900,640株	2026年３月期中間期	900,301株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.３「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） ……10
（セグメント情報等） ……10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、資源価格の高止まりや米国の通商政策の影響など外部環境の不透明感が継続しましたが、賃上げの定着や設備投資の増加が景気を下支えし、緩やかな回復基調を維持しました。化学品業界におきましては、原材料コストの上昇が続く一方、需要は底堅く推移いたしました。このような状況の下、当社グループにおいては、国内外の新たな機能性商材の取引拡大に引き続き注力いたしました。

これらの結果、売上高は149億２千１百万円（前年同期比12.4％増）、営業利益は２億９千８百万円（前年同期比29.7％増）、経常利益は３億７千１百万円（前年同期比26.6％増）と、営業利益・経常利益段階では対前年同期比で増収増益となりました。一方で、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期に計上した投資有価証券売却益の反動により、２億５千３百万円（前年同期比46.7％減）となりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

［科学事業］

＜土木・建材資材関連分野＞

土木関連分野では、セメント用添加剤、コンクリート二次製品用減水剤等の伸長並びに価格改定に伴い、増収となりました。

建材資材関連分野では、建材ボード用薬剤、防水塗料用バインダー等の伸長並びに価格改定に伴い、大幅な増収となりました。

＜情報・輸送機器関連分野＞

情報関連分野では、自動車内装部材用材料、自動車部品用ゴム成形品、インクジェット用原料等の伸長により、増収となりました。

輸送機器関連分野では、中東情勢を踏まえた前倒し材料確保により自動車用コーティング材料、二輪車用断熱材料原料等が伸長し、増収となりました。

＜日用品関連分野＞

日用品関連分野では、トナー用原料の調達難はありましたが、環境対応型可塑剤、日用品用保湿材等の伸長により、前年並みとなりました。

フィルム関連分野では、中東情勢を踏まえた前倒し材料確保により工業用フィルム、チルド食品及び冷凍食品用包装フィルム、生鮮野菜用包装フィルム等が伸長し、価格改定も重なり大幅増収となりました。

＜化学工業関連分野＞

繊維関連分野では、工業繊維用含浸材料の伸長並びに工業繊維加工用熱可塑性樹脂の採用があり増収となりました。

化学工業関連分野では、フェイスマスク用原材料、接着剤用輸入合成樹脂、樹脂コンパウンド用添加剤等の伸長により、増収となりました。

これらの結果、科学事業セグメントの売上高は134億８千９百万円（前年同期比16.6％増）、営業利益は３億９千４百万円（前年同期比28.7％増）となりました。

［建装材事業］

建材関連製品は堅調に推移しましたが、造作材関連・住宅用関連製品の出荷が低調であり、減収となりました。

これらの結果、建装材事業セグメントの売上高は14億３千２百万円（前年同期比16.1％減）、営業利益は１千万円（前年同期比67.2％減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　資産、負債及び純資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、４億９千８百万円増加し112億７千万円となりました。これは主に、現金及び預金が２億６千２百万円、電子記録債権が２億９百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、５億５千４百万円増加し52億１千４百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が５億９千５百万円増加し、有形固定資産が２千６百万円、無形固定資産が１千４百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて、10億５千２百万円増加し164億８千４百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ、４億３千８百万円増加し57億５千２百万円となりました。これは主に、買掛金が３億５千万円、電子記録債務が１億２千３百万円増加し、未払法人税等が２千９百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、１億２千３百万円増加し10億４千６百万円となりました。これは主に、その他に含まれる繰延税金負債が１億２千７百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて、５億６千１百万円増加し67億９千９百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、４億９千１百万円増加し96億８千５百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が２億６千７百万円、利益剰余金が２億５百万円増加したことによるものであります。

②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、26億７千４百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億１千４百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、５億１千２百万円（前中間連結会計期間は１億８千７百万円の増加）となりました。これは主に、仕入債務の増加額４億６千９百万円、税金等調整前中間純利益３億７千１百万円などの収入に対し、その他の資産の増加額１億６千５百万円、法人税等の支払額１億４千２百万円などの支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、２億６千万円（前中間連結会計期間は７億８千万円の増加）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による２億４百万円、定期預金の預入による４千７百万円などの支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、４千６百万円（前中間連結会計期間は８億３千８百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額４千４百万円などの支出によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2026年５月13日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日公表の「2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,500,149	2,762,909
受取手形及び売掛金	4,807,845	4,743,926
電子記録債権	2,260,654	2,470,378
商品及び製品	929,350	851,906
仕掛品	21,090	14,719
原材料及び貯蔵品	63,996	65,359
その他	188,678	361,071
流動資産合計	10,771,766	11,270,271
固定資産		
有形固定資産	1,551,835	1,524,898
無形固定資産	57,536	42,707
投資その他の資産		
投資有価証券	2,913,316	3,509,989
その他	137,861	137,063
貸倒引当金	△475	△475
投資その他の資産合計	3,050,703	3,646,577
固定資産合計	4,660,075	5,214,183
資産合計	15,431,842	16,484,455
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,807,535	4,157,669
電子記録債務	960,732	1,083,985
未払法人税等	160,595	130,691
賞与引当金	84,306	83,745
役員賞与引当金	17,805	12,235
その他	283,581	284,447
流動負債合計	5,314,556	5,752,773
固定負債		
長期未払金	318,990	317,595
退職給付に係る負債	21,567	18,166
その他	582,813	710,734
固定負債合計	923,371	1,046,496
負債合計	6,237,928	6,799,270

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,433,681	1,433,596
利益剰余金	5,450,057	5,655,368
自己株式	△860,961	△854,908
株主資本合計	7,739,377	7,950,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,244,595	1,511,724
土地再評価差額金	32,739	32,739
為替換算調整勘定	177,201	190,065
その他の包括利益累計額合計	1,454,536	1,734,529
純資産合計	9,193,913	9,685,185
負債純資産合計	15,431,842	16,484,455

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	13,277,410	14,921,814
売上原価	11,957,497	13,515,226
売上総利益	1,319,913	1,406,588
販売費及び一般管理費	1,089,871	1,108,119
営業利益	230,041	298,469
営業外収益		
受取利息	1,285	8,274
受取配当金	60,685	46,479
仕入割引	1,467	1,445
その他	11,057	19,577
営業外収益合計	74,496	75,777
営業外費用		
支払利息	2,869	－
持分法による投資損失	172	－
為替差損	4,340	－
支払補償費	－	1,402
棚卸資産処分損	－	999
その他	4,120	794
営業外費用合計	11,501	3,197
経常利益	293,036	371,049
特別利益		
投資有価証券売却益	446,102	－
特別利益合計	446,102	－
特別損失		
投資有価証券売却損	45,809	－
特別損失合計	45,809	－
税金等調整前中間純利益	693,328	371,049
法人税、住民税及び事業税	218,194	118,003
法人税等合計	218,194	118,003
中間純利益	475,133	253,046
親会社株主に帰属する中間純利益	475,133	253,046

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	475,133	253,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158,197	267,129
為替換算調整勘定	△43,428	12,863
持分法適用会社に対する持分相当額	△268	－
その他の包括利益合計	△201,894	279,993
中間包括利益	273,238	533,039
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	273,238	533,039
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	693,328	371,049
減価償却費	48,536	50,424
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,111	△560
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△9,038	△5,570
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△4,805	△3,400
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△341,116	－
受取利息及び受取配当金	△61,970	△54,753
支払利息	2,869	－
持分法による投資損益（△は益）	172	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△400,292	－
売上債権の増減額（△は増加）	500,559	△133,726
棚卸資産の増減額（△は増加）	184,178	84,094
その他の資産の増減額（△は増加）	△44,542	△165,810
仕入債務の増減額（△は減少）	△462,677	469,555
長期未払金の増減額（△は減少）	318,990	△1,395
その他の負債の増減額（△は減少）	△30,675	△860
未払消費税等の増減額（△は減少）	14,867	△32
その他	14,734	△5,403
小計	425,229	603,610
利息及び配当金の受取額	62,290	51,428
利息の支払額	△2,869	－
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△296,887	△142,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,762	512,733
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△47,493
有形固定資産の取得による支出	△10,788	△8,542
有形固定資産の売却による収入	80	－
無形固定資産の取得による支出	△4,694	－
投資有価証券の取得による支出	△107,950	△204,879
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	903,699	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	780,346	△260,915

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△720,000	－
リース債務の返済による支出	△1,164	△1,345
自己株式の取得による支出	△75,582	△373
配当金の支払額	△41,578	△44,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	△838,325	△46,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44,417	8,729
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	85,366	214,025
現金及び現金同等物の期首残高	1,429,080	2,460,149
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,514,446	2,674,174

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,570,376	1,707,034	13,277,410	―	13,277,410
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	11,570,376	1,707,034	13,277,410	―	13,277,410
セグメント利益	306,245	32,902	339,147	△109,105	230,041

（注）１．「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,489,583	1,432,231	14,921,814	―	14,921,814
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	13,489,583	1,432,231	14,921,814	―	14,921,814
セグメント利益	394,273	10,789	405,062	△106,593	298,469

（注）１．「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。